

## ⑥ 取り組みの流れ

### ○ 指摘箇所の修正

- “編集”画面の修正

- UserDAO.java の userAdd() メソッド  
SQL文の変更

### ○ 勤怠画面イメージ作成

→  を押すと

が無効化 ,  が有効化

### ○ DB設計. テーブルに追加

- model パッケージに 勤怠情報に関するクラス Attendance.java を作成
- dao パッケージに DBから勤怠情報を取り出すクラス AttendanceDAO.java を作成

- getAttendanceList() メソッド

→ ログインユーザーの勤怠一覧を表示

- punchBegin() メソッド

→ 出勤打刻を行う

- punchEnd() メソッド

→ 退勤打刻を行う

- punchWorktime() メソッド

→ 勤務時間打刻を行う

- Javascript 部分の作成  
+  
main.jsp の修正

- Main.java の修正

- 例外処理

- throws の記述

- 当初は、DAOクラス内にエラー画面に  
遷移させようとするも。  
それは controller の役割 ...。

- 戻り値を boolean 型にして。  
その戻り値によって controller 側の処理を  
変えようとした

- error.jsp の作成

- Javadoc 作成

# ① 勤怠画面のX-ジ作成

main.jsp

## メインメニュー

出勤

退勤

日付	出勤時刻	退勤時刻	勤務時間
2021-07-05	08:00	16:30	08:30

管理者メニューは [こちら](#) をクリック

[ログアウト](#)

(出勤をクリック後の画面)

main.jsp

# メインメニュー

出勤

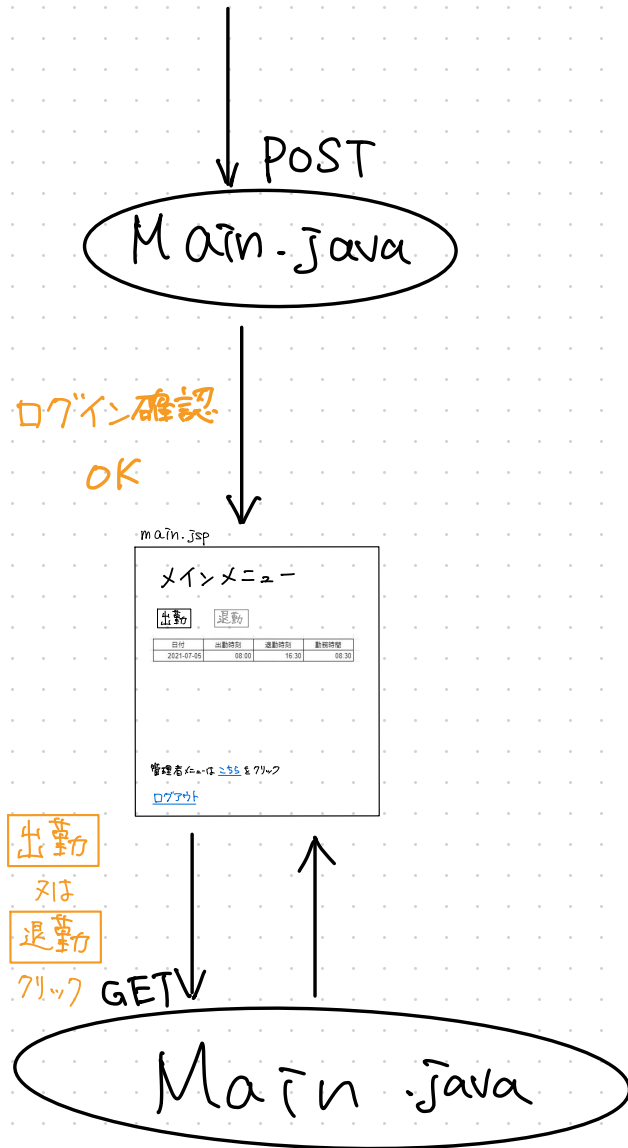
退勤

日付	出勤時刻	退勤時刻	勤務時間
2021-07-05	08:00	16:30	08:30

管理者メニューは [こちら](#) をクリック

[ログアウト](#)

## ⑥ 画面遷移



### • 出勤 クリック

- 1) 出勤 無効化
- 2) 退勤 有効化
- 3) DBに  
日付 "date"  
出勤時刻 "begin"  
の追加

### • 退勤 クリック

- 1) 退勤 無効化
- 2) 出勤 有効化
- 3) DBに  
退勤時刻 "end"  
勤務時間 "workTime"  
の追加

## ⑥ DB設計

- attendances テーブル の 追加  
(Google スプレッドシート 参照)

→ 型について

・DATE 型: YYYY-MM-DD

・TIME 型: HH:MM:SS

- 出勤 を押したとき

→ attendances テーブル に 追加

→ "end", "worktime" は null

- 退勤 を押したとき

→ "end", "worktime" を 更新

## ⑥ Log4J について

- Java プログラム用の ロギング API

→ デバッグ情報やエラー情報などを  
プログラム内からコンソール、ファイル、  
ログサーバなどに出力できる



◦ logging-properties

→ ログに関する設定ファイルが用意

レベル分類	Levelクラスの定数
最も詳細	FINEST
詳細	FINER
普通	FINE
構成	CONFIG
情報	INFO
警告	WARNING
重大	SEVERE

→ レベル : INFO から履歴として残していくことを意味する